

平成21年度事業計画

事業年度 平成21年4月1日～平成22年3月31日

I コンベンション事業

1 誘致事業

コンベンションを秋田に誘致するためには、地元学協会事務局およびキーパーソンの開催意思表示や地元開催の立候補表明が大きな割合を占めることから、地元関係者を一堂に会した情報交換会を開催し、要望に応じたコンベンションの開催し易い環境を整えて参ります。また、コンベンションの参加規模や過去の開催実績などターゲットを絞ったセールス活動を展開し、コンベンションを誘致して参ります。

(1) 誘致セールス事業

①秋田コンベンション情報交換会の開催

全国各地のコンベンションに参加されている学協会関係者が、それぞれの地域で良かったことや便利だと感じたこと等、参加者としての意見を発してもらい、新たに取り組むべき課題を整理し、解決・改善することでコンベンションの開催しやすい環境を整えるべく推進する。

- ・テーマ：「コンベンション参加者に満足していただくために」
- ・開催日：平成21年12月11日（予定）

②地元学協会へのセールス活動

『コンベンション開催意向調査書／JCCB発行』や七都市情報懇談会での情報から秋田開催可能なコンベンションをリストアップし、セールス活動を行う。

③七都市情報交換会への参画

参加各都市において開催済み、または開催予定のコンベンション主催者を招待し、紹介し合う情報懇談会やコンベンションに関する情報交換会を開催する。

近年に、交換会参加各都市で開催されたコンベンションを調査し、受入事務局の有無や過去の開催実績などを考慮し、秋田開催の実施性が高いコンベンションをリストアップする。そして、その事務局を懇談会に招待して頂き、積極的に効率的・効果的な誘致セールス活動をする。

- ・懇談会開催日：平成22年1月28日
- ・招待者：各都市3団体以上×7都市（20年度は24団体）
- ・担当者情報交換会：年4回開催
- ・加盟：旭川市、前橋市、岐阜市、姫路市、松江市、鹿児島市、秋田市のコンベンション推進団体

(2) 誘致情報収集事業

① J N T O（国際観光振興機構）の活用

J N T Oは、海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的に活動している組織で、国際会議の誘致・支援及びその情報提供をしている。

秋田では、平成23年に海外からの参加者が180名ほどの国際会議（公表不可）が開催される予定であり、外国人向けの観光コース設定や宿泊・交通等の受け入れ態勢の整備など他都市を参考にすることやJ N T Oの活用を加速させながら環境整備に努める。

② J C C B（日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー）の活用

J C C Bは、国際・国内コンベンションの誘致促進及びコンベンション従事者の人材育成の事業を推進実施するとともに、コンベンションの振興のための施策を確立し、我が国全体のコンベンションの振興を図ることを目的に活動している組織であり、全国のコンベンション推進機関の大部分が加入していることから「公益法人に関する各機関の動向」や「コンベンション開催による波及効果の調査」など、各推進団体で個別に取り組むよりも効果的であることから、その取り組みを要望していく。

- ・総会開催日：平成21年6月予定（東京）
- ・第1回C B部会開催日：平成21年5月予定（函館市）
- ・第2回C B部会開催日：平成21年10月予定（館山市）

③ 東北地区コンベンション推進協議会への参画

新潟、長岡を含む東北地区のコンベンション推進団体が、地区特有の共通課題に取り組む、首都圏に対抗したコンベンションの誘致や情報収集を目的に活動している。

- ・定例総会：平成21年10月予定（仙台市）
- ・担当者研修：平成22年2月予定（郡山市）
- ・加盟：青森市、弘前市、盛岡市、鶴岡市、山形市、仙台市、気仙沼市、郡山市、新潟市、長岡市、八戸市、秋田市のコンベンション推進団体。

④ 県外各種団体への訪問

大都市圏の秋田県事務所や県人会など、秋田を支えて頂いている団体を訪問し、コンベンション開催の情報収集や情報提供を行う。

⑤ データベースの作成【新規】

コンベンション参加者の規模や受入事務局が有るかどうかなど、秋田で開催可能なコンベンションを把握し、効果的・効率的な誘致活動をするため、データベースを作成する。

- ・初年度登録目標：400件

(3) 誘致宣伝事業

コンベンション開催時における当協会の支援体制や秋田のコンベンション施設などを主催者に紹介するため、誘致セールス用パンフレットやコンベンション施設ガイド、ホームページなどを活用する。

①誘致セールス用パンフレット

誘致時のセールスに活用するほか、海外コンベンション見本市や七都市情報懇談会等で配付し、コンベンション開催時の支援体制や秋田までのアクセス、エキスカーションなど紹介する。

②コンベンション施設ガイド

コンベンション開催の会場となる施設をすべて網羅し、部屋の収容人員や使用料金などが施設毎に比較できるガイドブックを主催者に配付し、会場選定に活用していただく。また、内容に不備な点や不足している項目などを調査し、校正を繰り返すことにより、充実したものとする。

③ホームページの活用(コンベンション情報)

公共施設、ホテルなどの会議施設や当協会が提供する支援サービスなど、主催者に必要な情報がホームページから得られるようにし、より多くのコンベンション開催に役立つよう情報提供を行う。

2 支援事業

主催者がコンベンションを円滑に開催できるよう、主催者及び参加者の立場に立った各種支援を行うほか、コンベンション参加者の中には複数の学協会に所属しているキーパーソンが多く「また秋田にきたい」「他の大会を秋田で開催したい」と感じていただけるように支援体制を充実させて参ります。

(1) 支援サービス事業

①あきたコンベンション応援団（登録者：男性2名、女性29名）

人手不足のコンベンションを円滑に開催させるため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、主催者をサポートする。

活動終了後は主催者から活動状況の聞き取り調査を行い、反省点や改善点を探る。

- ・20年度派遣実績7件 延べ67人

②サービスツールの製作・配付

- ・歓迎ポスター、タクシーシール製作・配付（20年度 各10件）
- ・観光ガイドブック配付（20年度 27,800部）
- ・コンベンションバック配付（20年度 8,700部）

③その他の支援サービス

- ・観光バスやタクシー観光の紹介（賛助会員や他団体との連携）
- ・おみやげ臨時販売コーナーの設置（賛助会員との連携）
- ・宿泊や交通などコンベンション関連業者（賛助会員）の紹介
- ・ほか各種支援。

3 調査・情報提供事業

コンベンション開催による経済波及効果や、人的、文化的交流などの社会的波及効果、秋田で開催されるコンベンション情報を調査し、情報提供をして参ります。

(1) コンベンション開催調査・情報提供事業

秋田県内の各種団体へ大会実施予定を調査し、賛助会員へ「コンベンションカレンダー」として情報提供するとともに、協会ホームページにより広く公開する。ただし、開催地事務局連絡先を記載した「コンベンションカレンダー」は賛助会員へのみ提供する。

- ・調査：平成22年1月中旬予定

(2) コンベンション波及効果等調査・情報提供事業

対外的に波及効果を示すことにより、その重要性を市民県民と共有し、連携した取り組みを目指すため、来年度の事業としての構築に向けて検討を開始する。

(3) 支援内容検証事業

既存の支援内容がコンベンション主催者や参加者に対し、効果的なものとなっているかの検証を実施する。

21年度は「歓迎ポスター」及び「タクシーステッカー」について、聞き取り調査などによる検証を行い、主催者、参加者、当協会にとって効果的なものになるよう再構築を図る。22年度以降は、「あきたコンベンション応援団の派遣」、「コンベンションバックの製作」、「臨時案内所、臨時売店の設置」、「事前PRキットの提供、貸し出し」などの支援内容について、それぞれ有効と思われる調査に基づき充実した支援内容の再構築を図る。

Ⅱ 観 光 事 業

1 観光客誘客宣伝事業

観光客誘客宣伝事業では、既存の観光行事を「観光誘客の素材」と位置づけ「千秋公園桜まつり」や「竿燈まつり」などの魅力を磨き上げ、秋田ならではの素材を活用した誘客活動を展開し、交流人口の増加を目指して参ります。

(1) 観光行事開催事業

①千秋公園桜・つつじまつり（秋田市と共催）

ア 桜の名所100選に選ばれた「千秋公園」の桜やつつじなどの素材を活用して賑わいを創出し、ホームページやマスコミなどを活用して県外からの誘客に努める。

会期：桜まつり・・・4月中旬から下旬（12日間）

つつじまつり・・・5月中旬から下旬（15日間）

内容：主催事業・・・ライトアップの強化、二の丸ステージでのイベント、露店の調整（出店、電気工事）、ホームページでの開花状況お知らせ（新規）など

受託事業・・・ぼんぼり、電気放送設備工事、園内の清掃、つつじのライトアップ等

イ 地域の商店街や関連団体との連携による更なる魅力アップを図るため、協議の場を設置する。

②雄物川フェア（国土交通省河川国道事務所・東北建設協会共催事業）

歴史ある自然豊かな雄物川を活かした賑わい創出のため、7月の河川愛護月間にあわせ、カヌー体験教室、雄物川パネル展、雄物川クリーンアップ、雄物川流域物産販売コーナー等を実施する。

会期：7月26日（日）予定

会場：秋田市茨島河川公園

③竿燈まつり

竿燈まつり会期：平成21年8月3日（月）から6日（木）

ア 竿燈まつり実行委員会受託事業の実施

竿燈まつり実行委員会受託事業を賛助会員へ発注する。

受託事業：竿燈観覧席予約センターの運営、警備員の配置、印刷物（ポスター、交通規制図、座席案内図）の作成、観覧席長イス設営・管理全般、従事者用弁当の発注、臨時職員の雇用

イ あきた特産市の開催（自主事業）

竿燈まつり期間中の協賛行事として、特産品、軽食の臨時店舗を設営し、来場者の利便を図る。

第一会場 秋田市役所前庭（お土産、軽食）

第二会場 旧産業会館跡地（軽食）

第三会場 千秋公園中土橋（軽食）

ウ 竿燈うちわの製作、販売

当協会の収益事業として観覧席販売に合わせて 30,000 本を製作。竿燈観覧席と同時に予約販売の他、竿燈期間中はあきた特産市会場、竿燈まつり案内所でも販売。1本 100 円。※平成 20 年度販売数 18,498 枚

④河辺・雄和活性化事業

河辺、雄和地区の魅力ある観光資源を活かしたイベントを開催し、多くの観光客を呼び込み、地域の活性化を図る。

当事業については、地域団体との関わりにより充実したイベントへの展開を期待できることから、主催についてはむしろ、地域団体への移行をすすめ、更にはグリーンツーリズム等のメニューに組み入れることを視野に入れるなど検討していく。

ア 高尾山まつりの開催（河辺雄和商工会共催事業）

風光明媚な高尾山の自然、伝説、歴史文化を活かし、地元団体と連携を図りながらイベントを展開する。

高尾山自然散策、石井露月の郷めぐり、吟行俳句大会、相撲大会等を実施。

会 期：平成 21 年 9 月 6 日（日）予定

会 場：高尾山（雄和女米木）

イ 雄和華の里秋祭りの開催

雄和華の里のダリアが満開となる時期に開催し、ダリアの魅力を活用した「ダリア染め体験コーナー」や「フラワーアレンジメント体験」の他、物産品等販売会場の設営及びステージイベント等を開催。

会 期：平成 21 年 10 月 3 日（土）～10 月 12 日（月）予定

会 場：雄和糠塚華の里エリア

ウ 雄和華の里スプリングフェアの補助

地元団体への移行初年度であることを考慮し、PR 経費等の補助金を交付する。

(2) 誘客・宣伝事業

①観光ガイドブックの製作

秋田市観光ガイドブック遊来楽「ゆらら」増刷

日本語版（冊子）30,000 部 日本語ダイジェスト版（リーフレット）60,000 部印刷

英語版（リーフレット）3,000 部印刷 韓国語版（リーフレット）1,000 部印刷

簡体字版（リーフレット）1,000 部印刷 繁体字版（リーフレット）2,000 部印刷

②あきた観光レディー募集事業

平成 19 年度より、過去の経験者に派遣要請の都度、当時の制服を着て業務を依頼していたが、辞退者が相次いだことから、露刈り撮影会など各種イベントでの活

用や、観光宣伝活動のための有効な活用方法を検討、確立したうえで新規一般公募により秋田美人5名を選出しあきた観光レディーを委嘱する。

③観光PRのための広域連携

秋田市単独での観光PRだけではなく、周辺地域の魅力をも活用したPRを行うことで、誘客に対する相乗効果を期待できることから、仙北市や男鹿市などの観光地と広域的な連携をするための協議会等に参加していく。

④他県での観光PR

近県でのPRは、比較的来県しやすい事を考慮し、家族連れやカップルを対象に、大森山動物園や竿燈まつりなど他県にはない秋田の観光素材を紹介するため、山形県鶴岡市で行われている「日本海寒鱈まつり」のようなイベントへ参加し誘客を図る。また、首都圏を中心としたPRは、秋田県観光連盟が主催する観光展等に男鹿市や仙北市など県内の観光地と共に参加し、広域連携でのPRを実施することで誘客を図る。

- ・日本海寒鱈まつり
会 期：平成22年1月
会 場：山形県鶴岡市
- ・首都圏での観光キャンペーン(秋田県観光連盟主催)
会 期：平成21年6月、11月
※内容を見極めながら参加する。

⑤ホームページでのPR(観光情報)

当協会の主催行事や県内で行われる各種イベント情報のほか、「調査・企画事業」の調査で得られた、新しい観光情報や秋田らしい観光資源を当面は「お知らせコーナー」で紹介していく。

2 観光客受入対策事業

観光客が快適な滞在期間を過ごせるよう、案内機能の強化と観光メニューの充実を図り、また、協会に寄せられる観光客の意見や感想を、関係する団体や個々の事業所に対し公表し、受入体制の整備に活かしてまいります。

(1) 秋田市観光案内所運営事業(秋田市受託事業、秋田県受託事業)

①観光情報の提供

多様化する観光客のニーズに対応するため、市内・県内の観光行事やアクセス情報などに加え、地元人でなければわからない情報も幅広く収集し、多彩で魅力ある観光情報を提供するとともに、収集した情報をテーマ別に整理し、必要に応じてすみやかに提供できるようデータベースを作成する。

②職員の研修

外部講師による接遇研修を行い職員の案内資質の向上を図るとともに、観光実地研修により、問い合わせの多い名所や施設、更にはその周辺の交通・宿泊・飲食環

境などを充分周知させることで案内業務の充実を図る。

③広域観光案内のための連携

個人客や少人数グループによるフリー観光が増加傾向にある中、案内所においては当地の案内に加え、周辺市町村などの観光情報の提供が求められている。こうした広域観光案内の需要に対応するため、各地観光案内所が一定の情報を共有し案内できるよう、県内広域圏観光を念頭に各観光案内所職員等による情報・意見交換会等の機会を設定する。

(2) 秋田市観光案内人事業

秋田市観光案内人の会とは

平成8年の秋田市観光案内人制度発足以来、当協会主導で観光案内のための研修や派遣を行っていたが、平成19年度の10周年を機に、秋田市観光案内人が独自に事業を行い、活動の幅を広げるため「秋田市観光案内人の会」を結成した。

①「秋田市観光案内人の会」への活動支援

「秋田市観光案内人の会」が行う観光案内に関する研修や接遇マナー研修などの自主的な活動に対し補助金を交付し支援する。

②秋田市観光案内人の活用

観光客が滞在時間を有効に活用でき、市内の観光名所や伝統行事の歴史的背景などについて、理解を深めながら楽しんでもらうため、秋田市観光案内人を派遣する。

派遣費用：1時間につき1,000円

(3) 受入体制整備事業

①観光客の要望等の情報提供

協会や観光案内所に寄せられる接客や交通など受入に関する意見や要望を観光客の生の声として、それぞれ行政や関係団体、関連企業等に伝え、改善等図ってもらうことで、受入体制の向上に活かす。

3 調査・企画事業

既存観光資源の磨き上げや新たな観光素材を創出するため、また、効果的な誘客宣伝活動に結びつけるため、各種調査を実施し事業に活かして参ります。

(1) 観光情報調査事業

①県内観光地の調査・研究およびデータベースの作成

多様化する観光ニーズに応えるため、秋田県による観光統計調査（観光客入込・動態調査）と秋田県観光便覧（秋田の祭り・温泉・味など）を活用した地域の情報と、地元でなければ分からない（例えば：地元の人が美味しいという店・新作のお菓子・今しか見られない風景など）市内を中心とした行事や食、豊かな自然などの

観光素材を新聞・雑誌・機関紙などの情報誌や聞き取りによる有益情報を収集し、整理のうえ、観光客に提供できるようデータ化しておく。

(2) 観光客調査事業

①満足度調査の実施

市内の観光施設や宿泊施設の協力を得ながら、秋田市滞在中の感想や意見などを伺い、把握することで、受け入れ態勢の充実に向けた取り組みに活かす。

調査方法は、各施設の受付窓口等に常備したハガキ形式のアンケート調査票による郵送回収とする。また、設問は、基本属性として、旅行者の性別、年齢、住所所在地等。観光行動として、観光目的や観光動機。観光満足度として、観光・宿泊施設の満足度、飲食・お土産品の満足度、観光情報に対する満足度、ホスピタリティーに対する満足度などについて調査を行う。

②観光客動態調査の実施

秋田市観光案内所の利用者に対して行う観光動態調査と秋田県による観光統計調査（動態調査）を参考に、観光客の市内県内での動態を把握することで、観光客が何を求めて来県しているか、広域観光はどの観光地と連携することが望ましいかなどを分析することで今後の誘客宣伝活動に活かす。

(3) 観光素材創出事業

①グリーンツーリズムの検討

秋田市グリーンツーリズム推進協議会や他団体と協議しながら、秋田にふさわしいグリーンツーリズムの可能性を検討し、同時に秋田市およびその周辺を周遊する観光コースの設定や旅行商品のシミュレーションを行う。

Ⅲ 組織推進事業

1 組織強化事業

組織強化事業では、賛助会員に対するメリットの提供やサービスの充実を図り、賛助会員との交流や新規加入会員の増加を図って参ります。また、公益法人制度改革に向けて取り組んで参ります。

(1) 賛助会員事業

① 賛助会員交流会開催

賛助会員の情報交換と交流を深めてもらうことを目的に開催する。

- ・ 賛助会員交流会の実施。

開催日：平成22年5月（予定）

② 賛助会員の加入促進活動の実施

観光事業、コンベンション事業を円滑に実施するために新規賛助会員の加入促進活動を展開し、財政基盤の確立を目指す。

なお、加入促進については、賛助会員のメリットを示すこととし、更に会員のニーズ踏まえながら、可能な限りメリットとして組み入れることとする。

(2) 組織連携事業

① 市民県民や各種団体との協力体制の仕組みづくり

事業の実施については、必要に応じて市民・県民や各種団体との連携による仕組みづくりを構築しながら事業の充実を図る。

連携団体：秋田県、秋田市、秋田商工会議所、河辺雄和商工会など

(3) 公益法人制度改革への対応

平成23年度の移行認定の時期とそれを見据えた来年度の役員選出も踏まえ、進むべき方向性等を協議する機関の設置などを検討する。

2 組織宣伝事業

観光とコンベンションが地域に及ぼす波及が大きいこと、将来的には協会の役割と重要性が更なる増すことを市民県民に理解していただけるよう宣伝企画内容を見直し参ります。

(1) 組織宣伝事業

① 機関紙での協会 PR

発行 年4回（4月、7月、10月、1月）

② 各種イベント開催情報の提供などによるマスコミ媒体等を活用しての協会 PR

③ ホームページでの協会 PR

ホームページを活用して当協会の活動を紹介。

Ⅳ 売店運営事業（特別会計）

1 売店事業

（1）千秋公園売店運営

期 間：4月中旬～11月中旬

営業時間：9時～16時（悪天候時等は閉店時刻変更）

（2）八橋運動公園売店運営

期 間：4月下旬～10月下旬の土、日、祝日、大規模大会等開催時営業

営業時間：9時～16時（悪天候時等は閉店時刻変更）

（3）県立中央公園スポーツゾーン売店運営

期 間：4月下旬～11月中旬

営業時間：9時30分～16時30分営業（悪天候時等は閉店時刻変更）

2 自動販売機設置事業

設置箇所：千秋公園売店、八橋運動公園売店、西部体育館、楡山コミュニティーセンター、スポパークかわべ、へそ公園、岩見三内コミュニティーセンター、河辺福祉交流センター、秋田県立中央公園、雄和体育館、雄和南体育館、花の森運動公園、B&G 海洋センター、ふるさと温泉特別養護老人ホーム花の家、高尾山、雄和農林漁家高齢者センター

Ⅴ 歓迎広告塔設置事業（特別会計）

当初、平成9年3月の秋田新幹線開通に伴う秋田駅舎新築に併せ、コンベンション参加者を歓迎する目的で「屋外歓迎広告塔」を秋田駅前に設置するため、3,000万円を目標に特別会計で基金の積み立てを行っていた。しかしながら、バブル経済崩壊と共に基金への繰り入れが困難となり、平成8年度から3年間で500万円余りを積み立てるにとどまり現在に至っている。

屋外広告塔の設置ということでこれまで検討していたが、金額的に不可能であり、駅周辺の様相も変化したことから、大画面テレビモニターでの歓迎広告などを秋田駅新幹線改札前付近に設置することで当初の目的が達成できると判断し、平成21年度本事業を遂行します。